

令和5年度 美唄養護学校 第1回学校運営協議会

1 日時 令和5年（2023年）7月21日（金）10:00～11:30

2 会場 北海道美唄養護学校 会議室

3 出席者 委員4名（欠席 3名）
 荻野 昌崇 様
 （美唄市青年会議所理事長）
 加藤 智美 様
 （安田侃彫刻美術館アルテピアッツァ美唄事務局チーフ）
 林寺 隆憲 様
 （社会福祉法人北海道光生会美唄学園マネージャー）
 山中 朋美 様
 （北海道美唄養護学校 PTA 会長）
 学 校 3名 校長、事務長、教諭



4 内容

- (1) 辞令交付並びに委員の紹介
- (2) 学校長挨拶
- (3) 委員長並びに副委員長の選出
- (4) 令和5年度学校経営方針について
- (5) 学校運営協議会について
- (6) 学校（授業）見学
- (7) 意見交換・熟議

5 委員から学校へのご意見等

委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「コロナ禍が明け、学習活動の幅も少しずつ広げていく必要がある。教科のつながりやそれらを総合的に単元として関連付けたりするなど、今の社会状況や児童生徒の状態からもう一度検討することを行っている。継続したほうが良い内容、新しく工夫して取り組める内容、改善を要する内容の検討などである。」という説明があった、コミュニティスクールとも関連させ、地域の資源の活用や地域の方との協力を教育活動の中にさらに取り入れて、できることが広がっていくとよいと思う。 ・コロナ禍の3年間、教員と保護者間の交流も制限され、お互い話をする時間が少なかった。保護者と教員の交流、取組も増え、心からのコミュニケーションが取れるようになっていけるとよいと思う。もっと開放的になるとよいと思う。 ・近隣の学校を含めた施設が、災害等の非常時に連携して取り組めることを話す機会を設定しておくことも今後大切になってくると思う。非常時の時の協力体制などを考えておかなければならないと感じている。まずは近隣の施設から話をはじめ、美唄市へと広がっていくとよいと思っている。 <p>【その他、教育活動における連携・協力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日のグラウンドでの学習活動を参観させていただき、子供たちの頑張りを見ることができとても良い機会だった。 ・先生方の子供たちへのかかわりがとても上手だと感じた。 ・子供たちの様子も4月当初とは違い、生き生きと活動しており、子供たちの順応する力を感じた。
校長	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度、初めて「美唄市社会福祉協議会 市民ふれあい祭り」に本校の紹介ブースを教員が出す。もっと、地域の方々に本校の活動等を知ってもらい、理解を深めてもらえるようにしたい。 ・災害時の連携・協力の件については、近隣施設の情報共有から始めたい。そして美唄市の関係部署とも確認していきたい。